

リンゴ産業の将来は？

弘前シードル工房・高橋さん

つがるで 演 後継者不足、現状解説
講

弘前シードル工房k i m
Oriを運営する「百姓堂

本舗」代表取締役の高橋哲史さん（弘前市）が28日、つがる市立図書館で講演し、リンゴ産業の将来を見通しながら、これまでのさまざまな挑戦を紹介した。放送大学青森学習センター主催、同図書館共催で、生涯学習の機会を提供する公開講演会として開かれた。

高橋さんは、輸出の活性化などで本県リンゴ産業が好況でありながら、一方で深刻な後継者不足に置かれた現状を解説。「昔は長男が無理に継がされてもいたが、職業選択の自由もあり、今の親は子どもたちに継がなければ駄目だとは言わない」と指摘した。

こうした中で、市民らのリンゴへの関心を養おうと園地で行ってきたイベントの成果もあって就農希望者が現れているとし「せっかく来てくれるのはありがたいことだ。血のつながりは無くても、給料を支払って『親から子へ』をやっている」と後継者育成の現状も説明した。



リンゴ産業の現状を紹介しつつ、市民に対するアピールや後継者育成について語った高橋さん

講演会の様子は来年1月下旬、NHKラジオ第2放送の「文化講演会」で全国放送される予定。本放送は同24日、再放送は同30日。
(渋谷絃一)